

# 第5回 活力ある農山漁村づくり検討会 資料

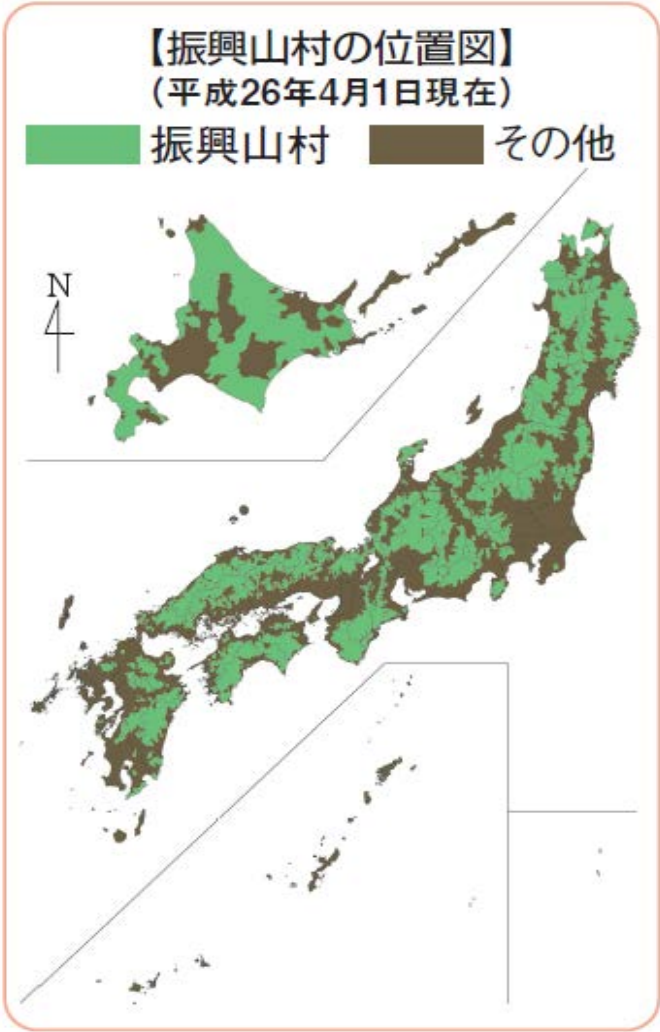
## 「森林を活用した山村振興」

---

平成 26 年 12 月 9 日

林野庁

○ 山村は、国土面積の約5割を占め、多面的機能の発揮に重要な役割を果たしている森林面積の約6割、農地面積の約2割を、3%の人口で管理。



■ 振興山村の概要

うち全部山村は200

|                         | 振興山村   | 全国      | 対全国比 |
|-------------------------|--------|---------|------|
| 市町村数 (H25. 4. 1現在)      | 734    | 1, 719  | 43%  |
| 旧市町村数 (S25. 2. 1現在)     | 2, 104 | 11, 241 | 19%  |
| 総面積 (万ha) (H22. 2. 1現在) | 1, 785 | 3, 779  | 47%  |
| うち森林面積                  | 1, 517 | 2, 485  | 61%  |
| 総面積に占める割合               | 85%    | 66%     |      |
| うち経営耕地面積                | 78     | 363     | 22%  |
| 総面積に占める割合               | 4%     | 10%     |      |
| 人口 (万人) (H22. 10. 1現在)  | 393    | 12806   | 3%   |

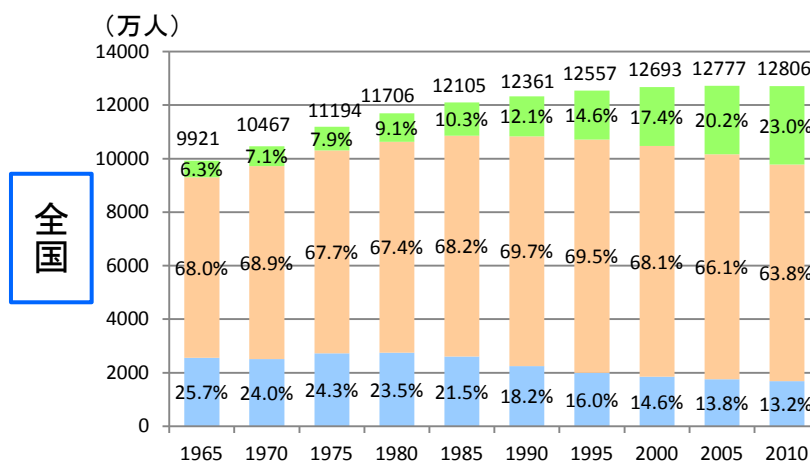
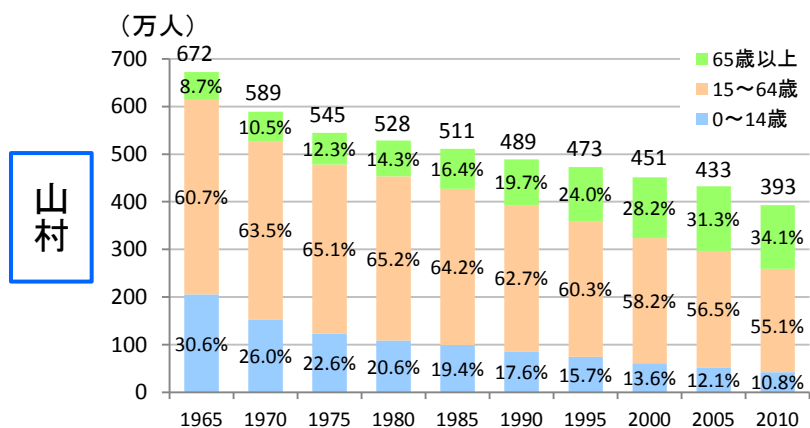
資料：農林水産省「2010年農林業センサス」、「山村カード調査」、総務省「国勢調査」

※ 振興山村とは、山村振興法に基づき、旧市町村(昭和25年2月1日現在)の区域を単位として指定される、林野率が75%以上、人口密度が1.16人/ha未満であり、交通、経済、文化等の条件に恵まれず、産業開発の程度が低い地域。

# 山村と農村の違い

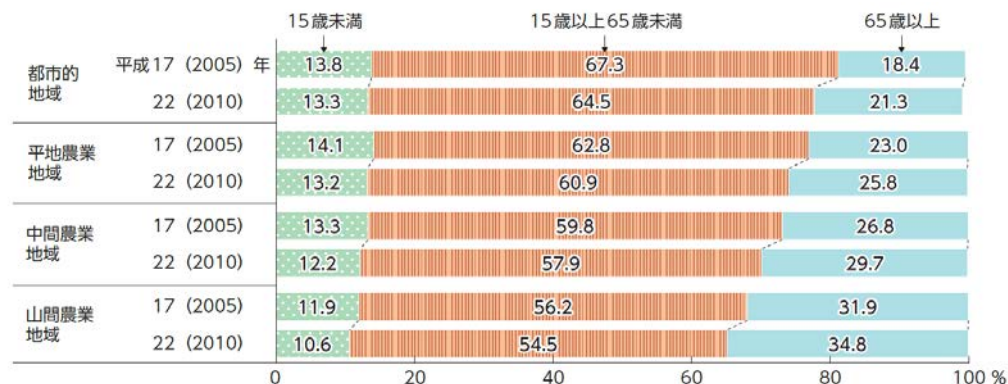
- 全国に先駆けて過疎化・高齢化が進行しており、農村(平地農業地域)よりも高齢化率が高い。
- 豊富な森林資源(木材資源)のほか、少量多品目の多様な地域資源を有するものの、まとまった平地が少なく、農村(平地農業地域)よりも農業生産性が低い。

## 振興山村及び全国の人口及び高齢化率の推移



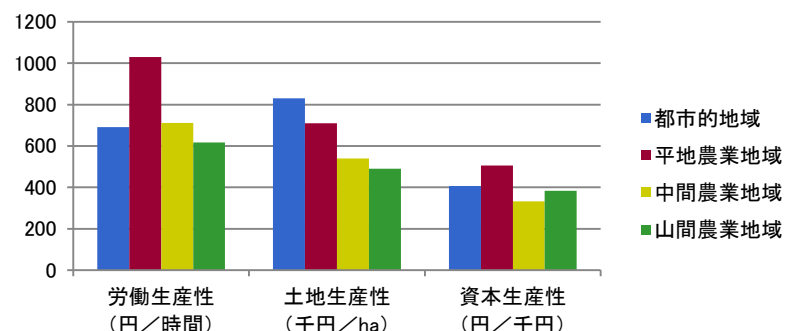
資料：総務省「国勢調査」、農林水産省「振興山村基礎調査」

## 年齢別人口構成(農業地域類型別)



資料：総務省「国勢調査」を基に農林水産省で作成  
注：年齢不詳があるため、合計が100%に満たない場合がある。

## 農業生産性の比較(農業地域類型別)



資料：農林水産省「農業経営統計調査 個別経営の経営形態別経営統計(経営収支)」(平成24年)

注：労働生産性＝自営農業労働1時間当たりの付加価値額

土地生産性＝経営耕地1ha当たりの付加価値額

資本生産性＝農業固定資産千円当たりの付加価値額

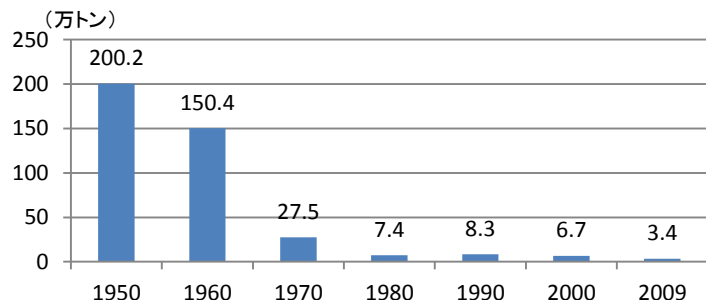
※付加価値額＝農業粗収益－〔農業経営費－(雇用労賃＋支払小作料＋農業経営に係る負債利子)〕

# 山村の衰退

- 昭和30年代の燃料革命による薪炭需要の激減や、昭和50年代以降の木材価格の下落等による林業の低迷により、雇用と収入の基盤が弱体化。
- 他方、森林空間をはじめとする自然環境・景観・文化等の都市部にはない魅力・資源を有する。

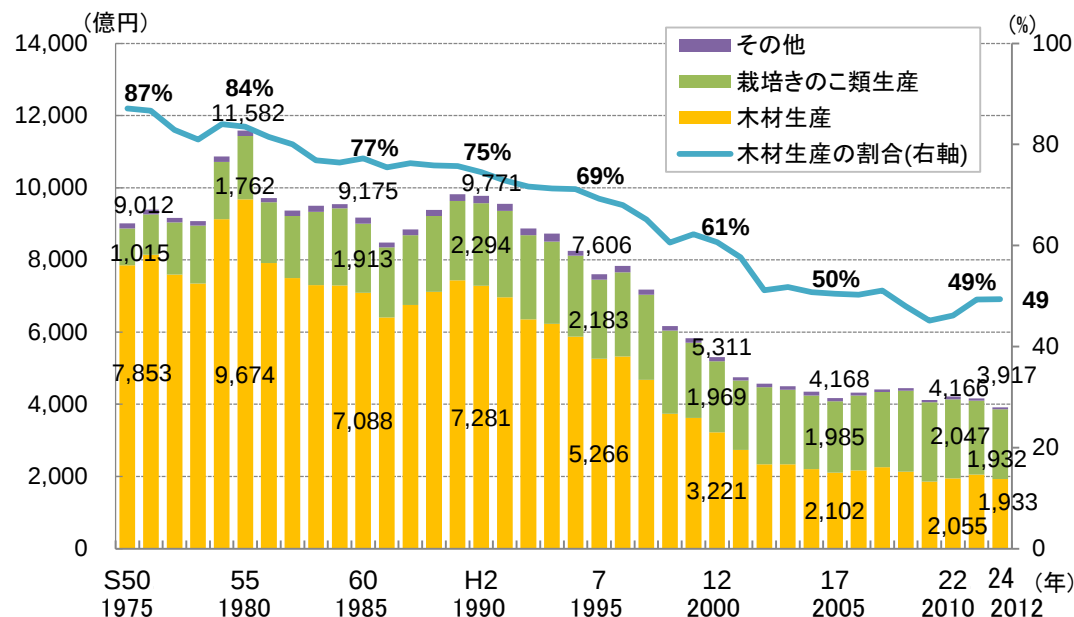
## ■ 木炭需要の減退

(注: 黒炭、白炭、竹炭、オガ炭、粉炭の合計)



資料: 林業統計要覧、林野庁業務資料、木炭統計資料 ((社)全国燃料協会)

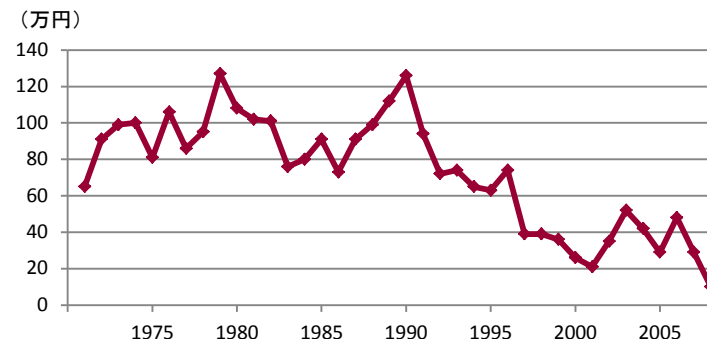
## ■ 林業産出額の推移



資料: 農林水産省「生産林業所得統計報告書」 注: 「その他」は、薪炭生産、林野副産物採取。

## ■ 林業所得の推移

(注: 一戸当たりの平均)



資料: 林家経済調査(昭和46年~平成13年)、林業経営統計調査(平成14~20年)

## ■ 過去1年間に林産物の販売を行った林業経営体数

|        | 経営体数    | 販売なし    | 販売あり   | うち用材販売 |
|--------|---------|---------|--------|--------|
| H22    | 140,186 | 124,203 | 15,983 | 14,396 |
| うち家族経営 | 125,592 | 112,285 | 13,307 | 11,687 |

資料: 農林水産省統計部「2010年世界農林業センサス」

## ■ 森林資源を活用した山村活性化の取組

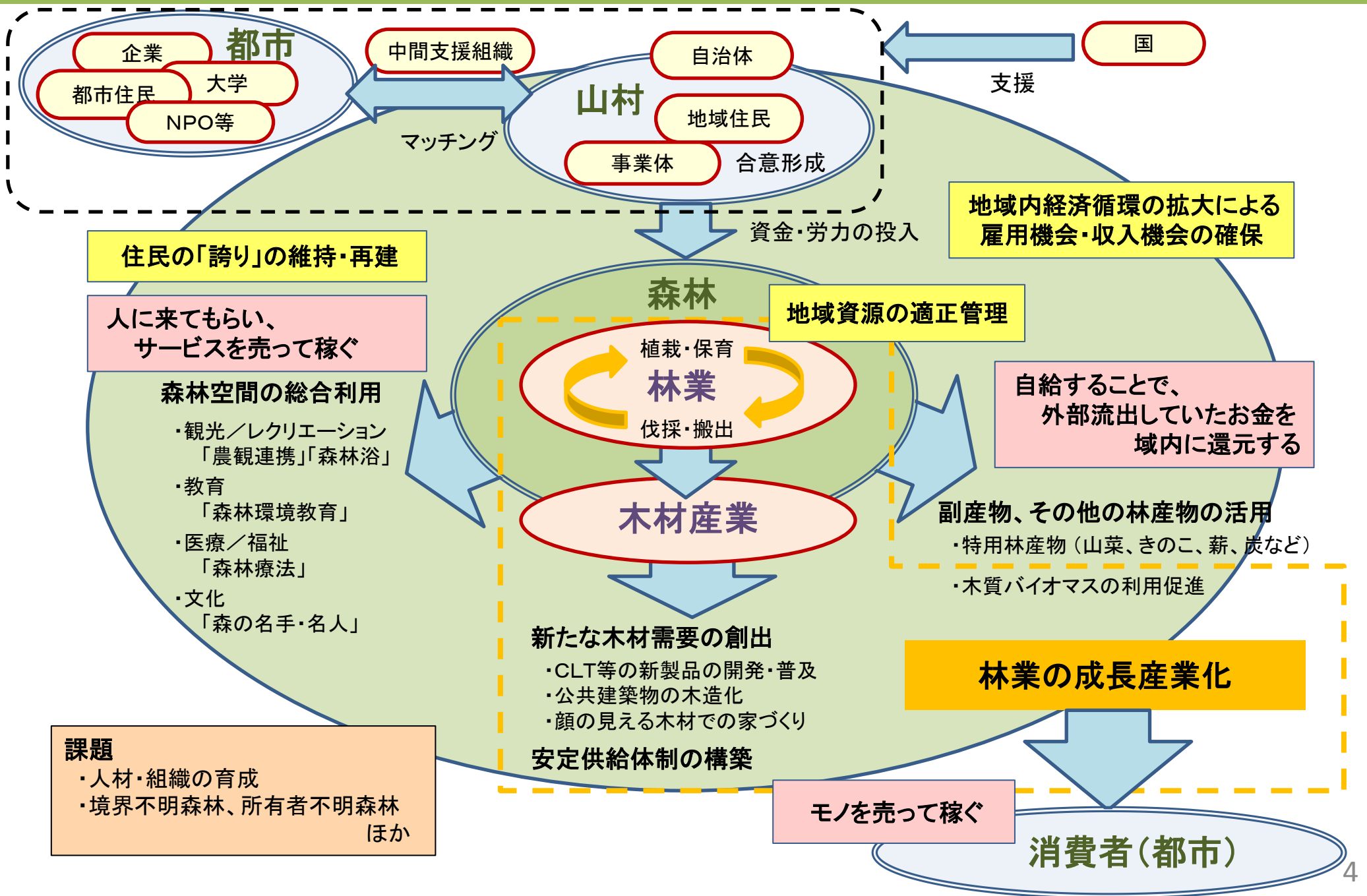


なかのじょうまち



群馬県中之条町では、NPO法人や地域住民等が、地域の森林をフィールドとして、都市及び地域の子供、家族を対象とした森林ふれあい体験イベント、ものづくり体験教室を実施

# 森林資源を活用した山村振興の方向性



# 林業の成長産業化

## 日本再興戦略 及び農林水産業・ 地域の活力創造 プランの実行

- 人工林が本格的な利用期を迎える中、豊富な森林資源を循環利用することが重要。
- 新たな木材需要の創出、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築により、林業の成長産業化を実現し、人口減少が進展する山村地域に産業と雇用を生み出す。
- 森林の整備・保全を通じた森林吸収源対策を推進。多面的機能の維持・向上により美しく伝統ある山村を次世代に継承。

## 目標

- 2020年までに国産材自給率50%を達成
- 2013年度から2020年度までの間、毎年52万haの間伐を実施

## 展開する施策

### 新たな木材需要の創出

- H28年度早期を目途に、CLT建築物の一般的な設計法を確立。併せて、建築事例の積み重ねや国産材CLTの生産体制構築の取組を総合的に推進。

JAS規格  
の制定

強度データ等の収集  
設計法の検討

建築関係基  
準の整備

建築事例の積み重ね

生産体制の構築



CLT建築の本格普及

- 耐火部材の開発・普及、公共建築物の木造化支援、地域材等を活用した木造住宅の整備推進。

- 地域密着型の小規模発電や熱利用など木質バイオマス関連施設の整備、木材製品等の輸出を促進。



### 国産材の安定供給体制の構築

- 原木供給サイドと製材業者等との協定締結等により、国産材の安定的・効率的な供給体制を構築。
- 施業集約化の加速、地域の実情に応じた路網整備、高性能林業機械の導入やストックヤード整備等を推進。
- 林業や山村を支えるフォレスター、プランナーなどの人材確保・育成等を推進（女性の雇用機会の確保）。



### 多面的機能の維持・向上

- 適切な森林の整備・保全、成長に優れた苗木等の開発。
- 鳥獣害対策の強化、災害に強い森林づくり等を通じた「緑の国土強靱化」を推進。
- 地域住民等による日常的な森林管理活動を推進。



# 林業振興による町づくり

## 事例：森林・林業日本一の町づくりに向けた取組

(岩手県 <sup>すみたちょう</sup> 住田町)

### <取組内容>

- 森林率が約90%の住田町では、豊富な森林資源を活用し、「森林・林業日本一の町づくり」に向けて取り組んでいる。
- 地域の協同組合等が主体となって、プレカット工場、集成材工場、製材工場等からなる木材加工団地を設置。
- 製造された集成材は、産直住宅、町営住宅、震災仮設住宅・復興住宅等に使用。
- また、町役場の庁舎を、地域材を使って木造で新築(平成26年9月竣工)。
- プレカット工場等の残材からは木質ペレットを製造し、町役場や小中学校など地域内の施設や住宅の暖房に使用。
- 平成16年には、FSC森林認証を取得。
- 町内の子どもたちに対する森林環境教育にも努めており、森林や地域産業に対する理解を醸成している。



FSC森林認証林



伐採



木材加工団地



集成材



プレカット加工



1棟当たり8㎡の地元スギ材を使用

震災仮設住宅



家庭用ペレットストーブ



新庁舎

# 多様な森林資源(特用林産物)の活用

## 事例：クロモジの利活用による地域の活性化 (富山県 南砺市<sup>なんとし</sup>)



### <取組内容>

- 地域にIターンして林業に就いた若者を中心に結成された団体が、製薬会社の医薬品の原料として試験的にクロモジを出荷。
- 競合樹種の刈り取り等の森林整備を実施。

### <成果等>

- 出荷時期は5月と11月の年2回。
- クロモジの資源量や収穫後の回復状況等を調査することにより、安定した収穫量の確保と持続可能な利用を目指す。
- 薬効のある他の植物の採取についても検討中。

## 事例：トチの森づくりとその恵みを活かした百業創出 (鳥取県 智頭町<sup>ちづちょう</sup>)



### <取組内容>

- 地元で伝統的に採取が行われてきたトチの実に着目し、トチの森づくりとその活用を図るため、身近な里山にトチの苗木を植栽。
- 森づくりや実のアク抜き加工など、伝統的に伝わる技術を確認し継承するための技術研修を実施。

### <成果等>

- トチの実の採取や播種作業は、小学校の総合学習の一環として実施。
- トチの実を地域住民の副収入源として活用するとともに、森づくりによる里山の景観整備に向けて取り組んでいる。